



～拍手で勇気づける！



先週は、参観日でした。新しい先生や友だちと一緒に過ごして間がないので、少し緊張している子どもたち。

このようなときに、自分の考えを述べたり、説明したりする際には、勇気がいるものです。ところが、教室では、指名された子が説明をし終わると、すぐにみんなから大きな拍手がわき起こります。「説明してよかった。」「聞いてくれてうれしい。」という気持ちになります。発表者だけでなく、聞いている子も、この教室では安心して発言できると感じて、「今度は自分も。」というように勇気を持ちます。拍手は、一人ひとりが大切にされるために、とりわけ学級のスタート時には、なくてはならないものなのです。「拍手で仲間を勇気づける」子どもたちに思わず笑顔になりました。

～聞くことは、人を大切にする第1歩

学年がスタートして、2週間。友だちを大切にする振る舞いができてきています。「人の話を聞く」とき、体や顔を向けて聞きます。

聞くというのは、心の動き、意志がとても大切です。自分の考えと同じか、違うか、違うとすれば、どこが違うか聞き分けるとき、頭の中は、目まぐるしく揺れています。その一瞬一瞬が思考力や判断力を鍛えているのです。そして、何より人を大切にする心が育つことになるのです。



～話す気構えは、「はいっ」の返事から

もちろん、話す方も聞く人を意識して話さなければなりません。

誰に注目して聞けばよいかははっきり意識してもらうために、「はいっ」と返事をして立ちます。すっきりと立つと、よく通る声も出しやすいのです。ノートやワークシートを見て、顔をあげて前を見て話すなど、前学年で身につけたことがわかるほどの見事な話し方、聞き方に拍手！！

フッキソウ

葉が年中青々と茂るので、富貴草という名がつけられました。庭園の下草によく植えられます。

今月の生活目標

- あいさつをしよう
- 登下校のマナーを守ろう

雨が降り続いた翌日、芝生で子どもたちと先生と一緒に遊んでいました。お天気になるのを待ちかねていたようです。新学期のはじまりには、子どもたちと先生とのふれあいは欠かせないものです。



また、今は学級のルールをつくっていく時期でもあります。前学年で高まった力を引き出しながら、先生と子どもたちとで新しい学級を創っていきます。「あ～～気持ちいい～～」の声が聞こえてきそうな暖かな春の一日、心も体もリフレッシュしていました。教室での集中した姿も、運動場でののびやかな姿も、どちらも本物の姿。ふれあいとルールをバランスよく指導していかなければなりません。今年度のキーワード「つながり」を感じる春のひと時でした。